

公益財団法人静岡県国際交流協会 平成 28 年度事業報告

- 平成 28 年度は、引き続き外部財源（県等の委託・補助事業）の確保、事務費の縮減及び事業費の精査に努めた結果、決算額（経常費用計）は 4,655 万円余（前年度 4,790 万円余）、経常収支は 40 万円余の赤字（前年度 159 万円余の黒字）となり赤字決算となった。
- 事業実績では、「アース(明日)カレッジ 2016」の開催や多文化共生意識の普及などを通じ国際理解・交流の推進、さらに医療通訳や就労支援など外国人住民を対象とした相談事業の高度化、多文化共生ネットワークの充実・強化、外国人児童生徒支援に携わる人材育成、外国人技能実習生の日本語習得支援など多文化共生の推進に取り組んだ。資産運用では、東京電力債（帳簿価格 3 億円）の平成 29 年 3 月末評価指数が 111.26（前年同期 100.51）となった。
- また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益法人会計を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業

【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

(1) 情報収集提供事業

- ア 情報誌(SIR Joy Press) 4,000 部を年 11 回発行した。
- イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守及び 5 言語（日本語・やさしい日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語）による情報提供を行った。
 - ・平均ユーザー数 3,956 ユーザー/月
 - ・平均ページビュー数 18,282 件/日

(2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ 2016」を開催した。また、多文化共生の意識普及を目的とし、留学生や外国人住民等が「世界のがっこう」をテーマに各国の文化を紹介するイベントを開催した。

- ア 「アース(明日)カレッジ 2016」
 - ・開催時期 平成 28 年 10 月 8 日(土)、9 日(日)
 - ・会場 静岡市葵生涯学習センター アイセル 21 (静岡市)
 - ・参加者 約 1,500 名 (延人数)
- イ 「世界のがっこう」
 - ・開催時期 平成 29 年 3 月 19 日(日)
 - ・会場 大社の杜 (三島市)
 - ・参加者 約 5,000 名 (延人数)

(3) 外国語ボランティアバンク設置事業（県委託事業）

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、県が養成した外国語ボランティアや語学が堪能な県民のボランティア登録を行うとともに、情報提供及び資質向上研修を実施した。

- ア 登録者数 1,240 名 32 言語（平成 29 年 3 月 31 日現在）
- イ 研修会の開催（東・中・西部）

「災害時、個人でできる外国人支援活動」

- ・開催時期 平成 29 年 2 月 18 日(土)
- ・会場 富士市交流センター (富士市)
- ・参加者 27 名

「医療通訳現場で起きている現実」

- ・開催時期 平成 28 年 11 月 26 日 (土)
- ・会場 静岡県観光・国際交流センター (静岡市)
- ・参加者 21 名

「通訳ガイドボランティア in Hamamatsu」

- ・開催時期 平成 28 年 7 月 23 日 (土)
- ・会場 浜松市多文化共生センター (浜松市)
- ・参加者 52 名

ウ ボランティアバンク通信を年 6 回発行

エ 語学ボランティア自主研修へ助成(3 グループ)した。

(4) 日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、国際活動の基本的能力である語学力の向上を図る機会を一般県民に広く提供した。

ア 国連高校生スピーチコンテスト

- ・国際理解・協力の理解を深める高校生スピーチコンテスト (4 名) を実施した。
- ・国連英語検定 (5 月 : 23 名、10 月 : 33 名) を実施した。

イ 国連外国語講座開催 (英語・韓国語、年 3 回開催 各 10 回、静岡市・沼津市)

- ・外国語講座 (受講人数計 585 名) を開催した。

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業

ア ふじのくに留学生親善大使設置事業 (県委託事業)

県内大学で学ぶ外国人留学生 20 名に「ふじのくに留学生親善大使」を委嘱した。委嘱後は、地域の国際交流事業に参加したり、学校や地域行事で母国文化の紹介する講師を務めた。

- ・委嘱人数 20 名 (中国 10 名、インドネシア 4 名、ベトナム 3 名、韓国 2 名、ベナン 1 名)

・参加事業件数 236 件

・事業参加親善大使 458 名

イ 留学生就職支援事業 (公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業)

県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、ビジネス日本語やビジネス文化を学ぶ研修会及び企業視察や経営者・人事担当者との交流会を実施した。

・開催時期 平成 28 年 7 月～平成 29 年 2 月

・会場 (公財)静岡県国際交流協会 共用会議室 (静岡市)
(公財)浜松国際交流協会 会議室 (浜松市)

・企業視察 株式会社村上開明堂(藤枝市)、鈴与株式会社(静岡市)
小野建設株式会社(三島市)、マーレエレクトリックドライブ
ジャパン株式会社(沼津市)

・参加者 留学生 54 名

ウ 留学生地域交流会開催事業（公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業）

静岡県 naturally 文化に対する留学生の理解を深め、留学生と日本人学生の交流促進を目的とした「静岡県・国際交流バスツアー」を開催した。

- ・開催時期 平成 28 年 11 月 20 日（日）
- ・訪問場所 掛川城、アクティ森、可睡斎
- ・参加者 51 名（県内留学生 31 名、日本人大学生 20 名）

(6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

(7) 海外移住者援護事業（県補助事業、県委託事業）

ア 海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

- ・在外県人会への助成
ブラジル 700 千円、アルゼンチン・ペルー 200 千円、サンパウロ日伯援護協会
アマゾンニア日伯援護協会 80 千円
- ・在外県人高齢者表彰
ブラジル 6 名、アルゼンチン 14 名、ペルー 4 名、パラグアイ 1 名、
アメリカ 5 名

イ 静岡県海外技術研修員受入事務事業（県委託事業）

南米県人会より推薦を受けた海外技術研修員の生活支援事務及び研修実施に関わる調整を行った。

- ・開催時期 平成 29 年 1 月 16 日（月）～2 月 3 日（金）
- ・研修員名 ケビン クシカワ ヤマウラ（アルゼンチン）
- ・研修場所 静岡県水産研究所（焼津市）

2 多文化共生推進事業

【 外国籍住民支援 】

(1) 外国籍住民支援アドバイザー設置

外国人住民が抱える複雑化した課題等に対応するため、ポルトガル語及びスペイン語の能力を持つ相談員を配置して相談窓口を開設するとともに、県内で開催される研修会等に出向き各地域の相談対応を支援した。

- ・相談件数 337 件
- ・国別人数 ブラジル 96 件、日本 86 件、ペルー52 件、コロンビア 6 件、その他 97 件
- ・相談内容 医療関係 108 件、生活 59 件、福祉関係 50 件、教育 14 件、その他 106 件

(2) 外国籍住民相談窓口高度化事業（自治体国際化協会助成事業、県委託事業）

外国人住民の「労働」、「女性」、「医療」にかかる課題解決に向け、関係者が情報を共有し、体制整備を図るための研修会を行った。また、緊急度を有する病院へ医療通訳者の派遣を行った。外国人住民の不安定な雇用状況を改善するため、外国人求職者と企業のマッチング事業に取り組んだ。

ア テーマ別専門研修会及び事例検討会の開催（自治体国際化協会助成事業）

「労働」

- ・開催時期 平成 28 年 10 月～11 月 全 3 回
- ・会場 静岡市（静岡県弁護士会館）、他 沼津市、浜松市
- ・参加者 83 名（弁護士、通訳、社会福祉協議会、外国人支援関係者等）
- ・内容 法テラス、社会福祉協議会、国際交流協会に寄せられる相談事例を共有し、連携体制について協議した。

「女性」

- ・開催時期 平成 28 年 12 月～29 年 1 月 全 3 回
- ・会場 男女共同参画センター「あざれあ」（静岡市）、島田市役所、東部健康福祉センター（沼津市）
- ・参加者 81 名（女性相談員、外国人相談員、通訳、外国人支援関係者等）
- ・内容 外国人女性（DV 対応）支援における具体的な内容及び対応方法についてグループワークを通して学んだ。

「医療」

- ・開催時期 平成 28 年 12 月～29 年 2 月 全 4 回
- ・会場 浜松医療センター、磐田市立総合病院、静岡済生会総合病院（静岡市）、沼津市立病院
- ・参加者 129 名（病院関係者、医療通訳者等）
- ・内容 「外国人が日本の病院にかかる時に困ること・戸惑うこと」「外国人が安心して医療を受けられるために」をテーマに協議した。

「医療通訳専門研修会」

- ・開催時期 平成 29 年 2 月 4 日（土）
- ・会場 静岡県観光・国際交流センター共用会議室（静岡市）
- ・参加者 37 名（ポルトガル語・スペイン語 25 名・タガログ語 11 名、病院関係者 1 名）
- ・内容 医療通訳の領域や専門知識についてロールプレイなどを交え、具体的な通訳の手法や注意点を学んだ。

イ 医療通訳者派遣（自治体国際化協会助成事業）

- ・派遣者 116名（9言語）
- ・派遣病院 10病院（静岡済生会総合病院 等）

ウ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業（県委託事業）

外国人求職者の実態調査及び企業と外国人労働者双方の聴き取りとマッチングを行った。また、外国人労働者の就労定着を図るため、アドバイザーを派遣し、就労状況の確認や企業との意見交換、外国人労働者向けの書類作成や翻訳支援を行った。

- ・開催時期 平成28年7月～平成29年3月
- ・外国人求職者実態調査 15名
- ・マッチング数 採用面接13名、採用決定5名（ブラジル4名、フィリピン1名）
- ・マッチング企業 4社（株）鈴与カーゴネット浜松、（株）鈴与カーゴサービス富士、廣川精機（株）、（株）スギヤマ
- ・アドバイザー派遣 17回

(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業

外国人住民への日本語指導を行うボランティアの資質向上及び地域日本語教育の推進を目的として県内ボランティア等が参加する「静岡県・日本語ボランティアセミナー2017」、「対話型 日本語ボランティア研修会」を開催した。

ア 「静岡県・日本語ボランティアセミナー2017」

- ・開催時期 平成29年1月9日（祝・月）
- ・会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」（静岡市）
- ・参加者 204名

イ 「対話型 日本語ボランティア研修会」

- ・開催時期 平成28年6月4日（土）～7月16日（土） 全4回
- ・会場 焼津市勤労会館「サンライフ焼津」
- ・参加者 32名

ウ 日本語サポーター

- ・登録者数 396名（平成29年3月31日現在）

(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒に対し、日本社会で自立して生活できるよう日本語の習得支援として、日本語指導を介した防災教育等実施の支援を行った。

【 地域連携・協働事業 】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築

県内の27国際交流協会や活動団体の連携強化を図るため、国際交流協会や多文化共生担当職員、外国人相談員等を対象とし、外国人住民相談事業にかかる講演や意見交換会を行った。

ア 外国人相談員専用サイトを活用し、相談事例と解決手段の共有を行った。

イ 外国人住民相談事業研修会

「外国人相談員の心構え・業務内容について」

- ・開催時期 平成28年7月29日（金）
- ・会場 富士市交流プラザ会議室（富士市）
- ・参加者 32名

「県内外国人状況と医療・福祉現場における外国人支援体制について」

- ・開催時期 平成28年8月1日(月)
- ・会場 サンウェル沼津 大会議室(沼津市)
- ・参加者 41名

「県内外国人状況と外国人相談事例から～多文化共生ワークショップ～」

- ・開催時期 平成28年8月5日(金)
- ・会場 静岡駅ビルパルシェ会議室(静岡市)
- ・参加者 45名

(6) 外国人児童支援事業

ア 静岡県教育支援者研修会

日本語の初期指導・学習支援が必要な子どもたちへの日本語習得支援方法をテーマとした研修会を県教育委員会と連携・協力して開催した。

- ・開催時期 平成28年6月24日(金)～11月11日(金) 計4回
- ・開催場所 藤枝市、掛川市、御殿場市、菊川市
- ・参加者 74名

イ 外国人の子ども育成支援事業(県委託事業)

外国人の子どもの日本語習得支援に関わることのできる人材を県域レベルで育成するため、日本語初期指導にかかる研修会を開催し、研修会修了生を市町へ紹介した。また、市町教育委員会及び多文化共生課担当職員を対象とし、地域日本語教室の体制整備や外国人の子どもの支援体制について協議することを目的とした研修会を開催した。

「外国人子ども支援員養成講座」

- ・開催時期 平成28年7月～12月 全4回
- ・会場 沼津市、焼津市、菊川市
- ・修了者数 121名

「外国人の子ども支援関係者ネットワーク会議」

- ・開催時期 平成28年11月4日(金)
- ・会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)
- ・参加者 55名

「地域日本語教室を活用した多文化共生の地域づくり」

- ・開催時期 平成29年2月8日(水)
- ・会場 静岡県庁(静岡市)
- ・参加者 29名

(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業

地域の日本語指導ボランティア、企業、技能実習生等の三者を結びつけ、企業内で実習生等を対象とした日本語習得指導を行うことで、地域の企業活動、住民と実習生等の相互交流、相互理解を促進した。

- ・開催時期 平成28年9月～平成29年3月
- ・実施企業 (株)パイオラックス(富士市)、SUS株式会社(菊川市)
- ・参加者 14名(フィリピン出身、タイ出身)